


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成30年5月15日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	4番	児玉洋一 
件名	自然とスポーツと観光が一体化したまちづくりを			
要 旨				
<p>山北町の自然豊かなフィールドを活かした、町内外によるスポーツ交流の必要性は、昨年3月の一般質問の中で、町側の考えと一定の方向であることは確認できました。</p> <p>また、健康づくり推進事業でも、ポールウォーキング教室の開催やハイキングコースの設定、森林セラピーなどを通じた健康増進と、スポーツが及ぼす地域活性化への取組みは、元気なまちづくりにとっては必要不可欠です。</p> <p>さらに2019年には「ラグビーワールドカップ」、2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」そして2021年には、「ねんりんピック神奈川」を控え、こうしたスポーツを目的に訪れる応援客や観光客をしっかりとお迎えできる体制作りが早期に必要であると感じ、次の考え方を伺います。</p>				
<p>(1) 関係自治体と連携した組織構築の考えは</p> <p>本年3月に、2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車ロードレース競技において、山北町を通過するコース案が発表された。都内をスタートした選手が、相模原市、山梨県道志村や山中湖村を經由しながら三国峠に入り、山北町の一部区間を通過して、静岡県小山町の富士スピードウェイがゴールとなるコースになる。このことは、スポーツ交流を推進する当町にとって、観光振興に向けた大きな起点になると考えている。そこで、オリンピック競技運営の具体的な支援体制や観光客誘致に対する取組みについて、町単独はもちろん、関係自治体や官民連携による広域協議体も必要と考えるが、町の考えを伺う。</p>				
<p>(2) 「スポーツのまち山北」としての普及活動を</p> <p>オリンピックの自転車競技、丹沢湖のスタンドアップパドルボード (SUP)、足柄峠走やポールウォーキングなど、山北町ならではのスポーツを町内外にPRし、更なる交流人口を増やす施策として、次の考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">① 町のイベントなどに競技用自転車の体験ブースや教室の開催② 山北町～小山町～山中湖村～道志村を巡る観光ツアーなどの開催③ カヌー教室だけではなく、SUP体験会や教室の開催④ 足柄峠走や大野山走など、専門講師を招いたランニング教室の開催				

(3) 幅広い世代で楽しめる新たなスポーツの推進を

オリンピック・パラリンピックに次いで、翌年 2021 年には厚生労働省主催の全国健康福祉祭「ねんりんピック神奈川 2021」の開催が予定されている。

60 歳以上の方を中心にあらゆる世代が楽しみ、交流を深めることができる健康・スポーツ・文化の祭典が初めて神奈川県で開催され、開催期間に延べ、50 万人の人が県内各地を訪れる見込みである。

未病の戦略的エリアに位置する県西地域は、この大会を中心的かつ積極的に取り組む必要があり、また山北町ならではの新しいスポーツの普及推進も必要と考え、次の考えを伺う。

- ① ねんりんピックに向けた、今後の協議体などへの取組み状況は
- ② 山北産木材を活用した、幅広い世代で楽しめるニュースポーツ「Kubb (クubb)」の普及推進を
- ③ 多種多様なスポーツと観光連携への積極的な取組みを

以 上